

「令和2年7月豪雨」による当社の被災状況について

このたびの記録的な大雨により、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

連日の大雨により、九州各地で運転見合わせや大幅な遅延等が発生し、お客さまにはご迷惑をおかけしております。また、久大本線及び肥薩線をはじめ、複数の路線において、橋りょうの流失や線路災害など被害が発生しており、復旧にはかなりの時間を要する見込みです。お客さまにはご不便をおかけいたしますが、ご理解くださいますようお願いいたします。

現時点における、当社管内各路線の被災状況につきましてお知らせいたします。

1 主な被災状況（詳細は別紙1,2をご参照ください）

(1) 久大本線

- ・ 7月7日の始発列車から、大雨により久留米～大分間で運転を見合わせました。
- ・ 豊後中村～野矢間の「第二野上川橋りょう」が流失しました。
- ・ その他、橋脚の傾斜、トンネルや線路への土砂流入、盛土流出等、多数の線路災害が発生しました。
- ・ 現時点で、日田～向之原間の復旧の見通しは立っておりません。なお、由布院～向之原間で7月14日よりバスによる代行輸送を実施いたします。

(2) 肥薩線

- ・ 7月4日の始発列車から、大雨により八代～隼人間で運転を見合わせました。
- ・ 鎌瀬～瀬戸石間の「球磨川第1橋りょう」及び那良口～渡間の「第二球磨川橋りょう」が流失しました。
- ・ その他、盛土・路盤・道床流出等、多数の線路災害が発生しています。
- ・ 現時点で、八代～真幸間の復旧の見通しは立っておりません。

(3) 鹿児島本線

①熊本地区

- ・ 7月8日の始発列車から、大雨により荒尾～熊本間で運転を見合わせました。
- ・ 玉名～肥後伊倉間において、大規模な土砂流入が発生しました。
- ・ 早期の運転再開を目指して、現在、復旧に向けた工事を進めております。

②鹿児島地区

- ・ 7月3日20:47頃から、大雨により川内～鹿児島中央間で断続的に運転を見合わせました。
- ・ 木場茶屋～串木野間、上伊集院～広木間において、大規模な土砂流入が発生しました。
- ・ 早期の運転再開を目指して、現在、復旧に向けた工事を進めております。

2 路線別の被災件数（7月12日時点）

合計 345 件の被害を把握しております。内訳は以下の通りです。

- ・久大本線：橋りょうの流失及び橋脚の傾斜、トンネルや線路への土砂流入、盛土流出など 145 件の被害
- ・肥薩線：橋りょうの流失や盛土・路盤・道床流出など 65 件の被害
- ・鹿児島本線：土砂流入や盛土流出など 26 件の被害
- ・その他線区：倒木や土砂流入、線路浸水、盛土流出など 109 件の被害

※なお、今後の気象状況や調査の進捗により被災箇所は増加することが見込まれます。

3 列車への影響（7月3日～10日の8日間）

九州内の計 20 路線で運休が発生し、約 19 万人のお客さまに影響がございました。

<内訳>

・路線：	九州新幹線、鹿児島本線、日豊本線、長崎本線、佐世保線、筑肥線、篠栗線、宮崎空港線、筑豊本線、大村線、唐津線、日田彦山線、後藤寺線、久大本線、豊肥本線、三角線、肥薩線、指宿枕崎線、吉都線、日南線
・運休：	4,550 本
・影響人員：	約 19 万人